



2010年7月30日

富士重工業 2011年3月期 第1四半期連結業績の概要

<2011年3月期 第1四半期業績：連結売上高>

スバルの国内販売は、登録車のエクシーガ、フォレスターが商品力強化による効果で好調に推移し、また軽自動車は新型車ルクラとともにサンバーが販売を伸ばし、国内販売全体では前年同期比 107.8%の 35 千台となりました。一方、海外販売では北米、中国を中心にレガシィが大幅に伸長し、フォレスターも引き続き好調に推移したことで、全市場が前年同期を超える販売となり、海外販売全体で同 170.8%の 115 千台となりました。

全世界合計の販売台数は同 150.1%の 150 千台と前年同期を大きく上回る実績となり、この結果、連結売上高は為替の円高による影響があったものの、売上台数および売上構成の改善により同 136.5%の 3,703 億円となりました。

<2011年3月期 第1四半期業績：連結損益>

営業利益は好調なスバルの売上台数増と売上構成の改善、さらにコスト削減により、前年同期比 423 億円増益となる 226 億円となりました。経常利益は同 437 億円増益の 242 億円、純利益は同 384 億円増益の 191 億円となりました。

<2011年3月期 第2四半期累計期間業績見通しならびに通期業績見通し>

第2四半期累計期間業績の見通しについては、第1四半期連結損益の経常利益、純利益が期初の予想値を上回ったことから、2010年5月7日に公表した予想を見直し、営業利益 350 億円、経常利益 330 億円、当期純利益 230 億円に上方修正します。しかしながら通期業績については、直近の為替が円高傾向にあることや鋼材などの原材料価格動向を勘案し期初予想を据え置きます。

※2010年5月7日公表

・第2四半期累計期間連結業績予想

売上高 7,500 億円、営業利益 250 億円、経常利益 230 億円、当期純利益 140 億円

・通期連結業績予想

売上高 1兆4,700 億円、営業利益 430 億円、経常利益 380 億円、当期純利益 230 億円